# 平成 26年度 各種調査結果等を活用した学力向上の取組事例

宮古 学校名 山田町立豊間根中学校 TEL 事務所名 0193-86-2411

# 「 生徒の質的変容を目指し、学力向上につなげる取組 」

## 【ねらい】

●「自己を表現できる力」を育成し、意欲的に学習に取り組む姿勢をつくる。

# 【具体的な取組】

- 1 はじめに
  - ○数年前の本校生徒の実態として、以下のことが挙げられた。

良い点「素直な生徒が大変多い」「指示されたことをきちんとやろうとする生徒が多い」 課題点「指示されないと動けない生徒が多い」「自分からあいさつできる生徒が少ない」

「一生懸命さを表に出せなかったり、出そうとしない生徒が多い」

「学習に対して受け身でさらに力を伸ばそうとする意欲が希薄な生徒が多い」

- ○学力的には、県学調において県平均を大きく下回って(10 ポイント以上)いる。
- 2 改善に向けた現状把握(数年前)
  - ○県学調アンケートの実態分析と校内研究会での話し合いから

課題点 (抜粋)

- ・学校の勉強は好きか (好き・どちらかといえば好き 県48% 本校21%)
- ・授業で分からないときどうするか (そのままにする 県7% 本校27%)
- ・自分にはよいところがあるか (ある・どちらかといえばある 県62% 本校49%)

※研究会の話し合いの中で、「自己肯定感が低く、自信を失っているのではないか。」「自己表現がうまく できず、あきらめている場合もあるのではないか。」という意見が出された。

これを受けて指導の方向性として、「学習面から学力向上を考える一方で、生徒に自信や誇り、自己肯定 感を持たせることで学習に対する意欲が増し、学力も向上するのではないか。」ということを全職員で確 認した。

- 3 改善の手立てと具体的な取り組み
  - (1) 特別活動面からせまった、自己を表現し、自信や誇りを持たせるための手立て
    - ア 達成感・成就感を味わわせるための学校行事等の精選と工夫
    - イ 生徒会を中心としたリーダーの育成







〈体育祭(応援披露)の様子〉 〈文化祭(伝承芸能)の様子〉 〈共生施設での分別作業の様子〉

### (2) 学習面からせまった学力向上の手立て

### ア 研究テーマ「ゴールの明確化と学び合いの充実」の実践

- ①「ゴールの明確化」
  - ・一単位時間の授業ごとに、何を学習するか、何ができるようになればよいかのゴールを示し、理解できたかどうかを振り返らせることにより一人ひとりの学びを深める。
- ②「学び合い」
  - ・授業において、各自が考え、話し、聞き、相互に学び合うことによって学びを深める。 (自分の考えを持つ。根拠を明らかにする。自分の考えを伝えあう。他者の考えと比較し、様々な 考えがあることを理解する。)

### イ 教科担任と連携を図った家庭学習の推進

#### ○方法

- ・家庭学習ノートを5冊準備(教科別)
- ・教科別提出曜日指定の家庭学習の実施

(1年:月…国、火…数、水…社、木…理、金…英) (2年:月…英、火…国、水…数、木…社、金…理)

- ・ 教科担任から家庭学習内容の指示(背面黒板の利用)
- ・教科担任による家庭学習の内容チェックとアドバイス

(学級担任…提出のチェックと指導、教科担任…学習内容の指導・学習支援と提出の指導)



## ウ 終学習(放課後学習 10 分間)の実施

#### ○方法

- ・基礎、基本の習得を目的に実施する。
- ・「国語」「数学」「英語」の3教科を実施する。
- ・内容は「漢字・英単語・計算」などの繰り返し学習、教科ごとの基礎的事項の学習、G アップシートの活用など生徒の実態に合わせた課題に取り組ませる。
- ・課題は、教科担任が準備する。
- ・1週間を1セットとし、週の最終日に確認テストを行う。
- ・1 週ごとに3つの教科をローテーションさせる。例えば、今週1年国、2年数、3年英の時、次週1年英、2年国、3年数。
- ・指導には学級担任または学年所属職員と、教科担任が学級に入りきめ細かな指導を行う。

### エ 授業前の教科書音読(1分前音読)の実施

・その日学習する内容を、始業1分前から音読し予習タイムとする。

# <u>【成果】</u>

- ・県学調の結果は、数年前の県平均-10ポイントから今年度+4ポイント程度まで改善できた。
- ・学び合いについては、年を追うごとに段階的に成長が見られ、現在はほとんど抵抗無くできるように なった。
- ・一生懸命になることを恥ずかしがらず、明るく前向きに努力しようとする姿勢が見られるようになった。
- ・学習に、意欲的に取り組もうとする姿が多く見られるようになった。
- ・進んで明るくあいさつすることができ、自分を表現する力が身についてきた。